

会報
藤井寺市観光ボランティアの会

〒583-0024 藤井寺市藤井寺 3-1-20 (アイセルシュラホール 藤井寺市観光協会内)
TEL : 072-979-7881 FAX : 072-952-7806

藤井寺 観光 ボランティア 検 索



第 29 号 2026 年 1 月

◆ 2025年 20周年記念を迎えて

藤井寺市観光ボランティアの会 会長 松村 義子

あけましておめでとうございます。

日頃より、当会の活動にご支援・ご協力をいただきありがとうございます。本年もよろしくお願
いいたします。

さて、昨年は大阪で万国博覧会が開催され、エジプトなど海外からのお客さまをご案内しました。
日頃より海外からのお客さまに向けてのガイドのあり方を学習してきた「多言語チーム」にとつ
ても貴重な経験となりました。

また、本年度は、藤井寺市観光ボランティアの会にとって 20 周年の節目の年でもあります。昨年
11 月には 20 周年記念ウォークを開催し、今年 3 月は 20 周年の集い(仮称)を行う予定です。この
20 年をふりかえり、会員一人ひとりの持ち味が生かされる活動のあり方など当会のこれからを考
える機会にしようと考えています。

いろいろな取り組みをとおして、30 年に向けてのステップアップを目指していきたいと思ひます。
今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

◆ 創立 20 周年を迎えた “藤井寺市観光ボランティアの会”



◆新幹事の紹介と抱負

ガイド部

中澤 良美

2025年度よりガイド部の幹事をさせていただくことになりました。ガイド部は、お客様と藤井寺市観光ボランティアの会を結ぶ架け橋です。

藤井寺市と当会を選んで来て下さるお客様に、楽しい思い出を提供していきたいです。

また、会員にもおもてなしの心で地元を紹介ができる喜びを感じてほしいです。どうぞ皆さま、奮ってガイドにご参加ください。体調や仕事など様々な事情に配慮して、沢山の会員の方々にガイドができるように工夫したいです。

広報やマップ作成、歴史講座や情報の提供など、常日頃、ガイド部に力を貸して下さる、各部会及び当会会員の皆さま方に心より感謝いたします。そして今後より一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

HP・IT部

森 芳明

入会は百舌鳥・古市古墳群が世界遺産に登録された2019年です。2020年から2023年迄は、コロナで活動が制限されたので、残念ながら実質3年の活動となります。

当会の情報発信の要であるホームページ・IT部へ3年前に入部以来、ライブラリーや歴史探訪の担当をさせて頂きました。ホームページ閲覧者の皆さんに藤井寺市や古市古墳群の魅力を伝えるためには、各項目の記事、写真の更新を絶やさずに行っていくのが大切になります。

藤井寺市は旧石器時代、巨大古墳の築造、歴史のある寺社、楠木軍の戦い、大坂夏の陣など歴史の宝庫でもあります。

そのため会員の皆様には歴史を題材にした、ライブラリー、歴史探訪、風物詩の記事執筆や、藤井寺市の撮れたて写真のナイスビュー投稿をお願いしております。

記事・写真の掲載について、ホームページ担当者は知恵を絞って企画を考えておりますので、これからも会員の皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

◆活動報告

副会長

桃井 克夫

令和7年は何とも忙しかった。コロナ禍が一段落して、観ボラ20周年の諸行事がありました。

記念ウォークの「しらんやろ～ふじいでら」は身近な藤井寺界隈の今昔を巡り知る楽しい企画で、藤井寺再発見に大いに役立ちました。

シュラホールの改修も終え、二階に観ボラルームも出来、打合せや相談に出掛けることが多くなりました。又二階の展示のガイドも定例化され、土日を中心に全員参加で案内をする機会が増えました。

近鉄バッファローズの特別企画の時は、地元は勿論遠く北海道・九州・埼玉等からファンが集い、講演会は身動きも出来ない程でした。

また、夢洲で大阪万博もありました。大屋根リングを一周し各パビリオンを覗き世界を近く感じたことでした。観ボラのガイドも増えることを期待しましたが残念でした。



アイセルシュラホールにお集まりの“近鉄ファン”

◆研修部現地研修

天理参考館と石上神宮

3月3日(月)

24名で現地を訪れました。ガイドは「天理市山の辺の道ボランティアガイドの会」に依頼しました。天理駅から参考館まで商店街を歩きながら、天理の町のこと、天理教に関わることなどを天理市の歴史も交えて、現地ガイドならではの幅広い知識でガイドして頂きました。

天理大学附属天理参考館は1～3階に、国内外から集められた民俗・考古資料の収蔵品が「世界の生活文化」と「世界の考古美術」のテーマ別に展示されています。1時間15分の見学時間でしたが、皆さん時間いっぱい使って見学されていました。



石上神宮



天理参考館

次に石上神宮では、境内を見学しながら歴史(御祭神、物部氏、禁足地、七支刀等)や建物(摂社・末社)などを詳しく教えて頂きました。

12時解散後は、帰宅する者や昼食をとる者などに分散しました。昼食後の行動は、天理教本部の参拝、天理参考館の再入場、西山古墳など周辺の史跡見学など各自関心のあるコースに分かれて行動しました。(塩尻)

◆20周年記念

ふじいでら秋季ウォーク

11月9日(日)

発足20周年を記念してウォークを実施することが決まり「ふじいでら」の昔の風景を写真で紹介して、ゴールのアイセルシュラホールでは抽選会を催すウォークを行いました。

普段のウォークは寺社や古墳を巡りますが、今回は「昔の川舟の舟板が壁に使われた民家・境内を近鉄電車を通る澤田八幡神社・昭和2年に大阪鐵道(現近畿日本鐵道)が開発した藤井寺経営地内の分譲した民家、教材園跡、藤井寺球場跡・美陵町と刻印されたマンホール」などを巡りました。



道明寺を雨の中、さあ行きますよ



会員手作りの景品

当日は、残念ながら小雨模様でキャンセルもでまし

たが、55名のお客様に参加して頂き、途中の休憩所では古墳型の菓子を召し上がって頂きました。

雨の中でしたが、昔の風景の写真を示しながら話すガイドの説明を熱心に聞いて頂きました。シュラホールの抽選会では、会員手作りの布製草履や、古墳をアップリケしたトートバッグなどの景品を楽しそうに受け取られていました。

計画立案や景品作成、雨中のガイドと、会員の皆様の奮闘で無事ウォークを終えることができました。

ありがとうございました。

(森芳)

◆世界遺産全部26基一筆書きウォーク

私には古くからの仲間がいます。学生時代に陸上競技の運営を一緒にやった連中です。彼らは今でも健脚（当然）「おい森、そっちの方でもなんか企画せえや」と先輩。その要望にこたえて「世界遺産の古墳全部まわって20km 歩きますか？」と言うことになりました。

しかし、ここで趣向を凝らさねば仲間は喜んでくれませんから「絶対に同じ道は通らず・絶対に真正面から古墳を見てもらう・国宝の仏像も見てもらう」を目標にルートを考えました。

2025年1月18日(土曜日)に10人の参加者を得てウォーキングを実施。中には徳島から始発で来てくれた仲間も…。みなさん喜んで帰ってもらえました。

そして、これはとても面白いし、楽しい。起伏がないのでけっこう歩けるぞ…と感じました。それに一回では惜しい。これ観ボラの新コースにして大々的に広げようとなったわけです。20kmなんてとても無理って思っておられませんか？ 予定の時間は6時間。だからそんなに苦しいコースではありません。半分ずつでも構いません。お昼も『ワイワイ食事タイム』があります。友人・知人をお誘いの上参加してみませんか？

(森康)

◆日本一長い吊り橋を歩く 11月18日(火) レクリエーションプロジェクト

日本一長い歩行者専用つり橋、2023年に供用開始された安威川ダムにかかるつり橋で、下をみるとおもわず身がすくむ高さで、風がふけば左右におおきく揺れを感じ立ち止まってしまうスリルあふれるつり橋でした。

少し肌寒さを感じましたが、つり橋を歩いて渡ったおりには日本一の雄大さが圧巻でした。又、つり橋を半周ほど歩きながら当時の面影が残っており、豪雨被害の恐ろしさを痛感しました。

強風雨で寒かったので両手をポケットに入れて歩いていたら「何してんねん！死んでしまうぞ！」と怒鳴られた。倒れたら頭から…観ボラの仲間はありがたい。

“ダムパークいばきた”茨木安威川ダムの右岸と左岸を結ぶつり橋、目に入ってくると谷瀬のつり橋のイメージの近代版のような感じでワクワク・ドキドキ 1~2歩踏み出すと、大阪市街地を一望できる風景が目に入り、風を感じながらのアッというまの長さ420m高さ60mの日本最長の歩行者専用つり橋でした。これからもたくさんのレジャー施設の建設予定があるそうです。

(山口、他)



ダムパークいばきた